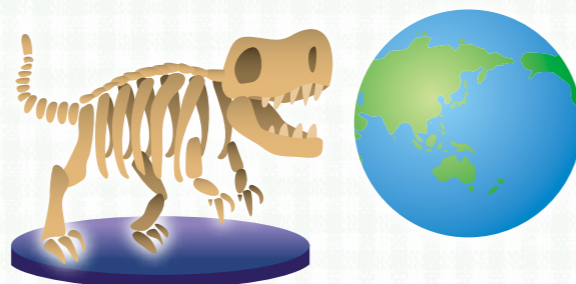


友の会視察研修旅行のお知らせ

今年度は、東京都上野にある「国立科学博物館」をメインに視察研修旅行を予定しています。ここは、1877(明治10)年に創立された、日本で最も歴史のある博物館の一つであり、国立の唯一の総合科学博物館です。期日は、11月13日(日)です。募集案内は後日お知らせいたします。定員は45名を予定しています。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

部分がリニューアルオープンしています。リニューアルされた展示は、見て触って体感しながら子供から専門家まで様々な方が先端的な科学の世界を楽しむことができる博物館です。見所満載の博物館ですから一日中楽しめると思います。



【国立科学博物館】

1999年の公開より15年間一般公開されてきた地球館ですが、2015年の7月に地球館の北側

これからの友の会イベント

【コケの観察とテラリウム作り】

- 日時/12月18日(日)
10:00~12:00
- 場所/自然史博物館 実験室



■内容/色々な種類のコケを顕微鏡で観察します。また、オリジナルのコケのテラリウムを作り、持ち帰ることができます。身近に生育しているコケについて一緒に学びましょう。
※詳しくは後日お知らせします。

友の会入会のお知らせ

- 年会費**
- ①一般会員.....3,000円
 - ②高・大学生.....2,000円
 - ③小・中学生.....1,000円
 - ④家族会員.....5,000円
 - ⑤賛助会員(1口).....10,000円

◎10月以降の入会は、年会費が半額になります。
◎入会されますと、博物館入館料が無料になるなど、多数の特典があります。

賛助会員(7月末現在)

以下、法人・個人の方に趣旨賛同いただきました。ありがとうございました。

(株)三栄商事・佐藤春利・齋藤紀恵子・(有)山田会計・野口会計事務所・(株)群馬小型運送・(有)市川会計事務所・(株)高崎冶金工業・(株)新井商会・(有)松井会計・柚木 郁・黒澤弘子

(佐藤真由美)

編集後記

長閑な田園に 近代的建物が出現して二十年なんですね。ガラス張りの発掘現場、動くT.rexにビックリしていた小さなお客様。今は立派なお父さんお母さんになり、小さなお客様の手を引いて来館。確実に、受け継がれているのですね。

友の会通信

～群馬県立自然史博物館友の会～

2016
Vol.
35

第1回 友の会 体験活動 川原の石・下仁田町宮室の 逆転層の観察

総勢27名、子供たちも多く参加し、宮室の白亜紀逆転層と河原の石の観察をしました。この層理の、今一つ解り辛かった級化の逆転の様子が、講師の菅原久誠先生の解説で良く理解出来ました。先生から、崖を降りる時の三点支持の姿勢、ハンマーで石を割る時の眼の保護や人との距離間隔等、安全面について教わり、南牧川の石の観察をしました。参加者は用意頂いたケースに拾った石を入れてオリジナルの標本を作りました。石の名前の鑑定をするときには、菅原先生の前に行列ができる程の熱意でした。ルーペは目に固定して石の方を動かすこと、割ってから表面は濡らして見ると良いこと、多くみられたチャートは1cm堆積に1万年かかる等、観察の仕方、名前と其々の多様な成因、含まれる鉱物について教わり、「半年頑張って観続ければ一定レベル迄わかるようになります」と励ましを頂きました。
(三友賢一)



川原の石探し



逆転層について説明



逆転層の観察



石の特徴を説明する菅原先生



菅原先生の説明に聞き入る参加者

参加者の声

- チャートの中に微生物が入っているかもしれないということやチャートと石灰岩の見分け方が分かってよかったです。(江原朔玖)
- 石を割ってあんなにキレイだとは思いませんでした。早く家に帰って顕微鏡で見たいと思います。(江原久美子)
- 川原に沢山の種類の岩石があり見分けながら採集しようとしたのですが、判別がとても難しかったです。夢中で2時間を過ごすことができました。(倉金秀行)
- とても楽しかったです。「今日一番のおしゃれなコレクション」と言って頂いたのがとても嬉しかったです。次、もし機会があれば、今度は全種類のコンプリートしてみたいです。(倉金香菜子)
- レアな石が見つかったよかったです。(清水大地)
- 今まで気にもとめていなかった石の名前やチャートが1cmの幅になるまで1万年もかかると聞き、興味深かったです。
- ものすごく暑かったけど石を見るみんなの目も熱く楽しかったです。
- 川原には思った以上に岩石がありとてもおどろきました。

平成28年度「友の会総会」開催

平成28年 5月8日(日)

平成28年度の友の会の総会が5月8日(日)午前10時から博物館学習室で行われ、24名の参加がありました。総会では柚木 郁さんが新会長として承認されました。その後、柚木会長の力強い挨拶に引き続き昨年度の事業報告及び決算報告、今年度の事業案並びに予算案について審議しました。慎重審議の上、全ての議案が承認されました。

今年度も様々な体験活動を予定しており、会員同士の親交が深められればと思います。会員皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

新会長あいさつ 会長 柚木 郁

今年は自然史博物館、開館20周年にあたり、新たな1ページを開くことになります。この間に県民のニーズは多種多様となり、期待に応えるためには、発送の転換や工夫が今まで以上に求められることになります。

その中であって、友の会の役割は、側面から応援・支援し、館の発展、充実に資することです。第一に会員増を図ることが重要です。さらに、会員を対象にした、研修旅行や体験活動等を通して資質の向上を図り、さらに、会員相互の交流を深めることです。そのような活動が館の発展、充実に繋がるものと確信しています。

微力ながら、一生懸命対応したいと思っておりますので、ご協力とご指導をお願いいたします。



柚木郁 会長

平成28年度友の会役員紹介

《平成28年度の役員・事務局》

- 【会 長】 柚木 郁
- 【副 会 長】 山田 利和・新井開三九
- 【運営委員】 堀越 友子・櫻井 昭寛・三友 賢一・北爪 二郎・伊丹 清美・佐藤真由美
- 【事務局】 浅野 春仁・月田 典寿・静野 聡
- 【監 事】 松井 則幸・瀬下 保
- 【顧 問】 横田 英一・原 浩一郎・池下 隆雄・川原 英雄

友の会講演会

友の会総会後に当館長谷川名誉館長を講師に迎え、友の会講演会を行いました。今回のテーマは、「化石とパソロジーの問題」でした。講演会では、スライドを見ながら実物の化石を紹介していただき、とても分かりやすく話を進めてくださいました。発見される化石は正常な形をしたものだけでなく異常な形をしたものも発見されます。異常な形をしている理由は、奇形、病気、怪我(骨折等)、他の動物に喰われた跡などが考えられますが、どれが原因だと特定できません。ですが、それを研究していくのはとても興味深いものだというお話しでした。化石を見る切り口が増え、とても勉強になりました。



長谷川名誉館長



講演会終了後

私が見つけた自然

「カオジロガビチョウ」

こんにちは、カオジロガビチョウです。わたしたちは「特定外来生物」とか言われ評判が悪いようです。でも、わたしたちは自分の意志で日本に来たのではないのです。



(清水伸彦)

「カナヘビの交尾」

カナヘビの交尾の瞬間です。噛みついていての方が雄のようです。観察会での出来事だったので沢山のギャラリーが見つめたのが原因かわかりませんが、わずかな時間の後離れてしまいました。残念ながら交接部分は見る事が出来ませんでした。爬虫類の交尾を観察する事が初めてで、貴重な瞬間に立ち会う事が出来ました。



(倉金秀行)

「アオハムシダマシ」

梅雨空の赤城山小沼のほとりを散策中、湖畔の石の上から、今にも飛ばうとしている小さな虫を見つけました。薄日の中で輝くその姿は、小さいながらも存在感があり、宝石のようでした。平地でも見かけることがありますが、高地にいるだけで神々しくさえ感じられました。



(平方邦夫)

私が見つけた自然 募集中

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録し、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館の友の会へ封書またはメール(事務局アドレス:tsukida@gmnh.pref.gunma.jp)でお送り下さい。

すてきな自然の情報交換の場になればと考えています。

なお、応募していただいた方全員にすてきな賞品をプレゼントします。